



ベントレー モーターズ本社のセールス、マーケティング、アフターセールス担当役員であるケビン・ローズ氏が、2016 年の展望についてインタビューに応じました。

Q 2015 年はラグジュアリーカー市場にとって厳しくなると予測されていました。2016 年は好転する要素はあるのでしょうか？

A ご存知のように、世界中で行われているさまざまな株式の取引では何が起るかわからないといった、いくつもの不確定な要素があります。私たちが期待するほど良くはない、という状況でしょう。しかし、可能性にチャレンジする計画は練ってありますし、私たちに素晴らしい新型モデルのペンティガがあります。

Q これまでビジネスにおいては首尾一貫した良いパフォーマンスを求めたい、とおっしゃってきました。それが意味するところを教えてください。

A ベントレー モーターズおよびリテーラーの両方のビジネスにおいて、セールス、アフターセールス、プレオウンド、サービス、ファイナンスなど、あらゆる分野における良いパフォーマンスという意味です。良い分野と悪い分野がある、というのとは少し違い、これらのすべての分野で首尾一貫して良いパフォーマンスを示すことでのみ、私たちはビジネスを強固にできると考えています。

Q 新しいリテール CI はどれくらいリテーラーの間に受け入れられていますか？ また、エクストラオーディナリーエクスペリエンスをお客様に提供するには、リテーラーはどんなことをする必要がありますでしょうか？

A 2015 年にリバプールで開催したグローバルリテーラーカンファレンスで、リテーラーの皆さんにお話したときは、最上のショールームとスタッフを備える新 CI への変更を求めました。とりわけ厳しい年の初めに行う要求としては大きいものだったと思います。リテーラーの皆さんの反応は目覚ましいものでした。すでに90%以上のリテーラーで完了しているか進行中です。今後はエクスクルージブチームを結成し、新 CI への移行をサポートしなければなりません。そうすることで、エクストラオーディナリーエクスペリエンスをお客様にお届けできるようになります。

Q ベントレーは新しく参入してくるプレミアムブランドとの競争激化に直面することになると思います。この現実にはどのように対処していくのですか？

A 私たちは常に商品とブランドを提供する組織について話しています。ですから、新商品を手にするのは当然ですが、それだけでなく新しい施設やツールを持つことにもなる、と。ベントレー モーターズはまた、ベントレーブランドに新しい顧客の興味を引き付けるため、より良いコミュニケーション、リードタイムの短縮、強力な 90 日間の活動計画などを通して、ブランドキャンペーンにさらなる投資を行うとお約束する必要があります。



Q 新しい収益源についてはどうお考えですか？

A 自動車と部品以外に収益源を開発することは、私たちにとって重要な事項です。これまでも家具や香水、時計、携帯電話といった製品でブランドグッズ、アクセサリ、ライセンスグッズを製造してきました。今後もさらに多くのアイデアをご紹介できると思います。

Q 今年のグローバルリテーラーカンファレンスでは、デュルハイマー会長兼 CEO が、今後はディーラーではなく「リテーラー」と呼ぶべきだ、という話をされていました。なぜそう変わるのか、またどのようにしてこの運動を維持し、リテーラーに周知していく計画ですか？

A 「ディーラー」といえばごく普通存在に聞こえてしましますが、私たちのパートナーであるリテーラーは特別な存在です。彼らはベント

CONTENTS

1 INTERVIEW —
2016 年の展望
ケビン・ローズ役員
インタビュー

2 COMPETITORS —
ボルシェ 911



3 COMPETITORS —
レクサス LX570

TOPICS —
着々と進むペンティガの
トレーニング

4 NEW MODEL —
ペンティガ - インテリア編

5 NEWS —
Mulliner が新作を続々と発表
他



6 BASIC KNOWLEDGE —
ペンティガの新技術 Vol.4

レーのエクストラオーディナリーエクスペリエンスを私たちの代理としてお客様に提供してくれるブランドアンバサダーなのです。だからこれからは彼らをリテーラーと呼ぶことにしました。

ディーラー マーケティング ニュースは、リテーラーの皆さんとのコミュニケーションのキーでもあるので、今後も続けて発行します。今後追加される最も重要なツールにベントレー iPad があり、お客様と対面するベントレーエクスクルージブスタッフに支給します。これは毎日ベントレーの代理業務をしてくれる方との第一のコミュニケーションツールとなります。

Q これまでベントレーの将来は以前よりも明るい、と発言してこられました。その自信は何に基づいているのですか？

A なぜなら、キーとなる要素が適切に整っているからです。素晴らしいブランドがあり、この上ない商品戦略を持ち、あらゆるレベルで組織が進歩している。成功以外にないでしょう。



2016 年のベントレーにとってペンティガは最も明るい話題

COMPETITORS INFORMATION [競合車情報]

新型エンジンで高性能と高効率を両立 ― 新型ポルシェ 911 の特長 ―

ポルシェは、2015 年 9 月の IAA（フランクフルト・モーターショー）で新型のポルシェ 911 カレラ / カレラ S を公開して以来、同年 10 月には 4WD モデルの 911 カレラ 4 / カレラ 4S および 911 タルガ 4 / タルガ 4S、そして 12 月には 911 ターボ / ターボ S を発表。ラインアップを一気に刷新しました。日本でもすでに受注を開始しています。

パフォーマンス

長年にわたりポルシェ 911 のターボエンジン搭載車はフラッグシップの 911 ターボ / ターボ S に限られていましたが、これまで自然吸気エンジンだったカレラ / カレラ S などのモデルについても、今回のフェイスリフトを機に新開発のダウンサイジングターボエンジンに換装されました。下記の新旧比較表を見ると、最高出力が一律 20ps ずつパワーアップされ、最大トルクが大幅に向上していることが分かります。

従来からツインターボエンジンを搭載する 911 ターボでは、燃料噴射圧の向上とインレットポートの見直しなどによりパワーアップを実現。ターボ S では新たに大型のコンプレッサーを装備することで差別化を図っています。さらにターボラグを大幅に軽減するダイナミックブースト機能が備わりました。



シャシー

ポルシェの電子制御ダンパーシステム「PASM」が全車標準装備となり、従来より車高が 10mm 低く設定されています。また、スイッチ操作でフロントの最低地上高が 40mm 上昇する油圧式リフティングシステムがオプション設定されました。さらに 911 カレラ S、カレラ 4S、タルガ 4S には、従来はターボおよび GT3 系モデルにのみ装備されていたリアアクスルステアが新たにオプション設定されています。

装備

人気の高いオプション装備のスポーツクロノパッケージには、今回から走行モードスイッチが備わりました。走行モードは「ノーマル」、「スポーツ」、「スポーツ・プラス」、「インディビジュアル」の 4 種類。PDK 装備車ではさらに「スポーツレスポンス」ボタンが追加されます。これは追い越し時などの最大加速に備えてドライブトレインのセッティングが 20 秒間変更されるものです。

FEATURE 1

パワーアップと燃料消費率低減を両立した新開発ターボエンジン

FEATURE 2

車高を 10mm 低く設定した PASM シャシーを標準装備

FEATURE 3

モードスイッチが備わったスポーツクロノパッケージ



新型 911 ターボ S とターボ S カブリオレ。今回はすべてのモデルでクーペとカブリオレが同時発表された。

エクステリア



911 カレラ 4S のテールパイプは丸形 2 本出し。エンジンとモデルの違いによってテールパイプの位置と形状が異なる。

主な変更点は、前後バンパーと、4 灯式ウェルカムホームライトを備えるヘッドライト、リセスカバーのないドアハンドル、縦型スリットとなったエンジンフード、4 灯式ブレーキライトを含むテールライトなど。先代と同様に、4WD モデルは 42mm ワイドなリアフェンダーとリアガーニッシュにより差別化されます。

インテリア



ターボ S のインテリア。ステアリングのスポーク右下に見えるのが走行モードスイッチ。

新開発のポルシェ・コミュニケーション・マネージメントシステム（PCM）が標準装備され、オンラインナビゲーション、7 インチモニター、ボイスコントロールが備わります。日本仕様車には新たに「コネクト・プラス」が導入され、Apple CarPlay®、コネクトアプリなどが利用できる予定です。

COLUMN 代表的なモデルの新旧比較		* スポーツ・プラスモードの場合（スポーツクロノパッケージ装着車） 注1：新欧州サイクル（NEDC）による計測							
		排気量	最高出力	最大トルク	トランスミッション	0-100km/h 加速	最高速度	燃料消費率 注1)	車両本体価格
	911 カレラ (旧モデル：自然吸気エンジン)	3,436 cc	350 ps/7,400 rpm	390 Nm/5,600 rpm	7 速 MT/7 速 PDK	4.8 秒 (MT) 4.6 秒 (PDK) 4.4 秒*	289 km/h (MT) 287 km/h (PDK)	9.0 ℓ /100 km (MT) 8.2 ℓ /100 km (PDK)	11,170,000 円 (MT) 11,920,000 円 (PDK)
	911 カレラ (新型：ツインターボエンジン)	2,981 cc	370 ps/6,500 rpm	450 Nm/1,750 - 5,000 rpm	7 速 MT/7 速 PDK	4.6 秒 (MT) 4.4 秒 (PDK) 4.2 秒*	295 km/h (MT) 293 km/h (PDK)	8.3 ℓ /100 km (MT) 7.4 ℓ /100 km (PDK)	12,440,000 円 (MT) 13,091,000 円 (PDK)
	911 タルガ 4S (旧モデル：自然吸気エンジン)	3,800 cc	400 ps/7,400 rpm	440 Nm/5,600 rpm	7 速 PDK	4.6 秒 4.4 秒*	294 km/h	9.2 ℓ /100 km	18,000,000 円
	911 タルガ 4S (新型：ツインターボエンジン)	2,981 cc	420 ps/6,500 rpm	500 Nm/1,700 - 5,000 rpm	7 速 PDK	4.2 秒 4.0 秒*	301 km/h	8.0 ℓ /100 km	19,130,000 円
	911 ターボ (旧モデル)	3,800 cc	520 ps/6,000 - 6,500 rpm	660 Nm/1,950 - 5,000 rpm	7 速 PDK	3.4 秒 3.2 秒*	315 km/h	9.7 ℓ /100 km	20,300,000 円
	911 ターボ (新型)	3,800 cc	540 ps/6,400 rpm	660 Nm/1,950 - 5,000 rpm	7 速 PDK	3.0 秒	320 km/h	9.1 ℓ /100 km	22,360,000 円
	911 ターボ S (旧モデル)	3,800 cc	560 ps/6,500 - 6,750 rpm	700 Nm/2,100 - 4,250 rpm	7 速 PDK	3.1 秒	318 km/h	9.7 ℓ /100 km	24,460,000 円
	911 ターボ S (新型)	3,800 cc	580 ps/6,750 rpm	700 Nm/2,100 - 4,250 rpm	7 速 PDK	2.9 秒	330 km/h	9.1 ℓ /100 km	25,990,000 円

COMPETITORS INFORMATION [競合車情報]

レクサスが投入した最上級 SUV モデル ―― レクサス LX570 の特長 ――

レクサス LX570 は、2015 年 9 月 14 日に発売されたレクサス SUV ラインアップのフラッグシップモデルです。LX570 は 1996 年に北米市場で導入されて以来、中近東やロシアなどの海外市場で販売されていました。今回、日本市場に導入された LX570 は、レクサス LX としては 3 代目となるモデル。全長 5,065 mm × 全幅 1,980 mm × 全高 1,910 mm のボディサイズは国産 SUV では最大級。シャープなフロントマスクとともに強烈な存在感を放っています。



エクステリア

レクサスのデザインアイコンとなるスピンドルグリル、3 眼フル LED ヘッドランプ、ターンシグナルが流れるように点灯する LED シーケンシャルターンシグナルランプを採用し、力強さとラグジュアリー感を表現しています。また、切削光輝加工とグレーメタリックの組み合わせが特徴的な 21 インチアルミホイールをオプション設定しています。

FEATURE 1	FEATURE 2	FEATURE 3
トヨタ・ランドクルーザーをベースにした 8 人乗り SUV	内外装を専用デザインとすることでトヨタらしさを払拭	国産車では最大級の 5.7L V8 ガソリンエンジンを搭載

インテリア



水平基調のインストルメントパネルは、ランドクルーザーとは別物の専用デザインです。本革シートにはセミアニリン、インテリアパネルには本木目（ウォールナットまたは縞空）を奢り、上質感を演出しています。さらにエアコン、ステアリングヒーター、シートヒーター・シートベンチレーションの各機能を一括作動させる空調システム「レクサス クライメイト コンシェルジュ」を搭載。乗降時に自動で車高調整を行う「乗降モード」なども装備しています。

パフォーマンス

エンジンは、ランドクルーザーの 4.6L V8 に対して、国産車としては最大級となる 5.7L V8 ガソリンエンジンを搭載。最高出力は 337ps、最大トルクは 534Nm を発揮します。トランスミッションは、ランドクルーザーの 6AT に対して 8AT を採用するなどの違いがあります。

価格

1 グレードのみで価格は 11,000,000 円。これはフラッグシップセダンの LS 460 “version L” (AWD:11,120,000 円)、LS600h “version C” (11,223,000 円) とほぼ同等レベルで、輸入プレミアム SUV の価格帯と競合するモデルです。



TOPICS [トピックス]

着々と進むベンティガのトレーニング

昨秋からベンティガのトレーニングが進められています。ベントレー初の SUV であって、ベントレーの長い歴史の中でも最大規模のトレーニングプログラムとなっています。1 月 13 日～ 15 日に米国カリフォルニア州のパームスプリングスで 220 人を集めて開催された 2016 年グローバルリテラーカンファレンス終了後の数日間、ベンティガのトレーニングも開催されました。

座学からオフロード走行まで
多岐に渡るプログラム

トレーニングの座学では、エンジニアリング、開発、生産などの各部門のキーパーソンからテクノロジー、デザイン、イノベーションや総合的なアクセサリーなどについて説明を受けました。これらの要素の詳細について理解を深めるのと同時に、ベンティガを初めて運転する機会も提供。参加者はハイウェイを走ったほか、モトクロスサーキットでオフロード走行も体験し、ベンティガの性能を確認しました。ベンティガはどんな地形でも明らかに感動的な走りを見せたため、参加者からのフィードバックもこの車の悪路での走破性とラグジュアリーな室内を賞賛するポジティブなものが圧倒的でした。



Gino
ベントレー イスタンブール

この車にはインフォテイメントやサウンド関係はもちろん、ほぼすべての機能が標準装備されていることに驚きました。コントロール類がすぐ手に届く場所に設置されているのもとても快適です。

Sean Cook
ベントレー レスター

ベンティガでオンロードとオフロードを運転できたのは大きな喜びでした。また、パフォーマンスと車体の大きさに似合わぬ俊敏さのブレンド具合も素晴らしいかったです。

Jon Crossley
ベントレー マンチェスター

この車は私が想像した以上のものでした。とてもスムーズに走り、オフロード性能も申し分ありません。特筆すべき点を 3 つ挙げるとすれば、ラグジュアリーさ、ドライバビリティ、快適性です。



Javier
ベントレー マドリード

オンロードとオフロードどちらにおいても幅広いドライバースタイルが洗練されていることに感銘を受けました。これが運転の経験を豊かにし、この車の多用途性を実現しているのだと思います。

NEW MODEL [ニューモデル]

ベンテイガの特長 — インテリア —

世界各地でトレーニングが行われているベンテイガ。日本でのデリバリーも今秋に予定されており、着々と準備が進められています。昨年 10 月から実施された E ラーニングのおさらいとして、1 月号ではベンテイガのエクステリアについて取り上げました。今回はインテリアについて復習しましょう。

1 キーのデザインも刷新

ベンテイガでは、キーのデザインもモダンでシンプルなものに刷新。ドア、トランク、パノラマサンルーフの開閉に使用できます。



2 熟練の職人の技が光るシート

初期モデルのすべてのシート設定では、シートのショルダー部分とボルスター部分にキルト模様があしらわれています。高級仕立てのハンティングジャケットからインスピレーションを受けたこのデザインは、小さな正方形で構成されており、車外からでも職人技による見事なインテリアであることがわかります。



5 美しく操作しやすい運転用機器類

シンプルかつ精密に装備されており、どこに触れても心地よさを感じることができます。シフトレバーは人間工学に基づいて設計された流線型で、本体はベントレーでもディテールにこだわったクロームとレザーで仕上げられています。Bentley の「B」を 3 列のローレット加工で囲んだデザインは、ブルズアイやロータリーコントローラーと調和しています。



3 最上の快適性を提供するシート

標準仕様のフロントシートは 16-way 調整式で、クラス最上級の快適さを提供します。ラグジュアリー仕様では 22-way 調整式となり、ウイングサポート付ヘッドレスト、高さを電動で調整できるシートベルト、調整可能なクッション&ボルスターが装備されます。6 種類の設定が可能なマッサージ機能とベンチレーター&ヒーターも付いています。

6 ウッドパネルは標準で 7 種類を用意

伝統的なデザインからモダンなデザインまで、明暗どちらのカラーも揃えています。ウェストレールとダッシュボードにはビンストライプのアクセントが施されています。

4 15 色から選べるレザーハイド

レザーハイドは全 15 色から選ぶことができます。カラースプリットは、明るい色調から暗い色調まで 3 種類のデュオトーンと、スポーティでモダンなデザインの計 4 種類を用意。シートベルトはメインハイドまたはセカンダリーハイドに合わせたカラーになります。また、ラグジュアリーカーベットが標準装備され、ふかふかのオーバーマットやラムウールラグなどから選択できます。

7 最先端技術を注ぎ込んだインフォテインメントシステム

ベンテイガのインフォテインメントシステムには、最新の先端技術が注ぎ込まれており、直感的な操作が可能になっています。市販モデルの中で最も統合されたシステムで、現行のどのベントレーよりも 6 倍速い通信速度を実現しました。



9 スポーティでエレガントなステアリング

ベンテイガ用にデザインされたステアリングは、スポーティさとエレガントさを兼ね備えています。ツートンカラーのヒーター付ステアリングも選択可能です。

10 好みのモードを簡単に選べるドライブダイナミックモード

「コンフォート」「スポーツ」「カスタム」「ベントレー」の 4 つのドライブモードを搭載。好みのモードをロータリーコントローラーで簡単に選べます。1 度の操作でエンジンとシャシーの両方が最適化され、クルマのドライビング特性が大きく変更されます。「カスタム」ではステアリングを最適化することも可能です。なお、「オールテレン」仕様では、レスポンスプロードセッティングの 4 モード（2016 年 1 月号を参照）が追加されます。

8 浮かび上がるようなメーターパネル

ガラス越しにさまざまな情報をクリアに確認できるメーターパネル。ドライバーはナイトビジョンカメラ（装備されている場合）の画面を表示できます。



11 3 種類のオーディオを用意

オーディオは標準装備のほかに、「Bentley Signature Audio」と「Naim for Bentley Audio」の計 3 種類を用意しました。標準装備の出力は 153W ですが、Bentley Signature Audio は 12 チャンネル 12 スピーカーで 700W、Naim は 21 チャンネル 18 スピーカーで 1800W の出力を誇り、このクラスでは最もパワフルなオーディオとなっています。



12 標準 5 席、オプション 4 席

ベンテイガの標準仕様はリアシートが 3 席の 5 席仕様です。外側のシートには、手動調整可能なヒーターが装備されるほか、快適なヘッドレストを取り付けることもできます。リアを左右独立の 2 席仕様にできるオプションも設定。それぞれのシートは 18-way 電動調整式で、マッサージ機能とベンチレーター、フットレストも装備されています。



13 ウッドパネル仕上げのリアコンソール

4 席仕様の場合はウッドパネルで仕上げられたリアコンソールが装備されます。カップホルダー、大容量収納スペース、充電用 USB ソケットなどを備えています。

14 全席折りたたみ式で積載容量拡大

ラゲッジマネジメント仕様では、電動操作でリアシートを全席折りたたむことができ、積載容量を最大限に増やせます。

15 高級感のある固定式背もたれ

4 席仕様の場合にキャビンとラゲッジルームを隔てる固定式背もたれを装備。高級感あふれるダイヤモンドキルトが施され、スキーハッチも装備されています。



16 新型 TSR

センターコンソール後端にはリアシート乗員が使用できるタッチスクリーンリモート (TSR) を装備しています。ベンテイガには高速処理を誇る新型の TSR 2.0 が採用され、リアシートにしながら直感的でインタラクティブなコントロールを可能にしました。



17 パノラマサンルーフは標準装備

ルーフ全面積の 60% を占めるパノラマサンルーフは標準装備。ガラス全体を覆う電動ローラーブラインドも装備しています。



※ リアシートエンターテインメントシステムは日本仕様では提供されません。

LATEST NEWS [最新情報]

TOPICS

Mulliner が新作を続々と発表

ベントレーのビスポーク部門を担うMullinerが、新作を続々と発表しています。



ストーンベニア by Mulliner

コンチネンタル GT とフライングスパー用のベニアで、約 200 万年前にできた珪岩をスレートにしたものを使用しています。Mulliner の専門チームが手作業で石の表面を 0.1mm の薄さに仕上げ、できる限り軽くしました。Galaxy、Autumn White、Terra Red、Copper の 4 色から選ぶことができます。



フライングスパー用ビスポーク

新たにフライングスパー用に作られたビスポークで、ボトルクーラー、ペイント仕上げのベニア、スターリングシルバーアトマイザー、カスタマイズしたセンターコンソールの収納、ダイヤモンドキルティングをはじめ、お客様の要望に合わせてカスタマイズします。なお、このビスポークは V8 と W12 のどちらにも対応しています。

Mulliner の新しい「プロダクト&マーケティングガイド」が、ディーラーマーケティングニュースからダウンロードできます。お客様は「Mulliner とは」「何ができるのか」といった説明をするのに役立つガイドです。

ディーラーマーケティングニュース
(<http://dmn.bentley.co.uk/content/dmn/en/downloads/mulliner.html>)
DOWNLOADS → Mulliner → Mulliner Toolkit



Monster by Mulliner

ハイパフォーマンスオーディオメーカーの Monster と Mulliner が手を組み、今年 1 月 6 日～9 日に米国ラスベガスで開催された国際 CES に出展したのがコンチネンタル GT V8 S をベースにした Monster by Mulliner です。Monster の信じられないサウンドと力強いルックスを求める人に向けてデザインされました。



Mulliner Beluga Edition

フラッグシップモデルのミューラザンヌ Speed を 11 台限定で Mulliner が仕上げた特別仕様車「Beluga Edition」が発表されました。残念ながら英国、欧州、中東のみでの販売となりますが、ダークでカリスマ性を感じさせる仕上がりとなっています。

※ 詳細につきましては、ベントレー モーターズ ジャパンにお問い合わせください。

MOTOR SPORT

GT3 の 2016 年シーズンは視界良好
今季初レースのバサースト 12 時間で
3 位

2 月 7 日にオーストラリアのマウントパノラマサーキットで行われたバサースト 12 時間レースで、ベントレー・チーム M スポーツのコンチネンタル GT3 が 3 位でフィニッシュ。2016 年最初のレースに臨み、10 号車で 297 周を走破した Guy Smith、Steven Kane、Matt Bell が表彰台に上がりました。また、31 号車としてエントリーした姉妹車も完走して 7 位。全ての車を完走させた唯一の GT マニファクチャラーとなりました。あらためてコンチネンタル GT3 の信頼性が証明されたことになります。ベントレーのモータースポーツ責任者である Brian Gush は、「マウントパノラマでの 2 回目の挑戦で表彰台に乗れたことは大きな成功です」などと語りました。

ベントレー・チーム M スポーツは、2016 年もブランパン GT シリーズに参戦します。

詳細はツイッターで。 [Tweet to @BentleyRacing](#)



EVENT

パワーオンアイス 2016 に
ベンティガ登場

ベントレーのラグジュアリーとパフォーマンスを極限状態で体験するカスタマー向けイベント「パワーオンアイス 2016」が 1 月から開催されています。今年のパワーオンアイスは、北極圏に近いフィンランドのクーサモ地方で計 9 回開催（各回とも 4 日間）され、ベンティガも氷上デビューしました。

今年も指南役は世界ラリー選手権（WRC）で 4 度の総合優勝に輝いたフィンランドの英雄ユハ・カンクネン。カンクネンがドライブする車の助手席に乗り込み、彼のドライビングスキルを体感することができます。

参加者はベントレーのドライブレイナーたちから氷上での全開走行を学び、極限状態での運転を経験することができます。宿泊やディナーもベントレーブランドに見合った最高品質のものを用意。ドライブプログラムのほかにも、スノーモービルでのツアーや夜間の犬ぞりアドベンチャー、伝統的なフィンランド式スモークサウナ体験などさまざまなプログラムをお楽しみいただけます。



BASIC KNOWLEDGE [基礎知識]

Bentayga の新技術 Vol.4

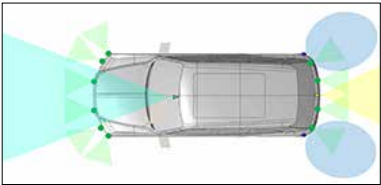
Safety : Driver Assistance System

ドライバーアシストシステム（DAS）の安全機能

最大 12 個の超音波センサーと 5 つのカメラ、短 / 長距離レーダーを装備

ベントイガに採用されたドライバーアシストシステム（DAS）は、装備に応じて最大 12 個の超音波センサーと最大 5 つのカメラ、さらに短距離レーダーや長距離レーダーも備えて、クルマの周囲の交通状況を的確に把握。それをベースに多彩なドライバー支援システムを提供しています。そのテクノロジーの多くは Bentley にとって初めてのものになりますが、最先端のカメラおよびセンサーテクノロジーの導入と、制御ロジックの入念な検討・設定によって、この分野で先行する競合他社をしのご、高次元なアシストシステムを実現しています。

今回は、DAS の数多くの機能の中から、安全性の向上に関わる機能をピックアップしてみました。ベントイガの充実したドライバーアシスト機能、セーフティ機能をぜひお客様にアピールしましょう。



DAS のすべての機能を搭載した場合、超音波センサーは前後バンパーに各 6 個、カメラはフロントに 2 個、リアに 2 個、両サイドに一对設置される。

標準装備

Bentley セーフガード

衝突の危険性を回避するとともに、万が一衝突した際の乗員へのダメージを最小限に抑えるためのベーシックなシステムです。車両の前後に衝突の可能性をシステムが検知すると、危険警告ランプを点灯させてドライバーに注意を促し、ウィンドウとサンルーフを自動的に閉じ、フロントシートベルトを強く引き締めます。

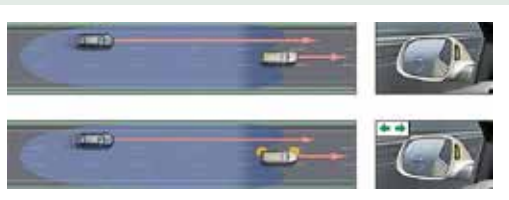
エグジット・ウォーニング

乗員がクルマから安全に降りることをサポートする機能です。停車してクルマから降りる際に、両サイドの後方から接近するクルマやバイク、自転車の存在をレーダーで監視。開いたドアと衝突する危険性を検知すると、ドアハンドル部分とドアミラーハウジングの LED ランプを点滅させて警告。警告を無視してドアを開けようとすると、一時的にドアをロックします。



ブラインド・スポット・ウォーニング

複数車線の道路で車線変更をする際、自車後方の死角内を走行するクルマとの接触や衝突を未然に防ぐシステムです。10 ～ 250km/h の範囲内で走行中、車体後方に設置された 2 つの短距離レーダーが、左右斜め後方の死角内を監視。エリア内に他のクルマが入るとその距離と速度を測定し、ドアミラーハウジングの LED ランプを点灯させてその存在をドライバーに知らせます。さらに、その状態でドライバーが車線変更をするためにウインカーを作動させると、LED ランプが点滅に切り替わり、衝突の危険性をドライバーに警告します。



シティ仕様

シティセーフガード

最大 85km/h までの速度域で、衝突の回避あるいは衝突による被害の軽減を図るシステムです。車内に設置されたモノビデオカメラが前方の交通を監視し、衝突の危険性を検知すると音と表示でドライバーに警告。同時にブレーキをかける準備に入り、シートベルトを強く引き締め、エアバッグの最適な作動タイミングを決定します。万が一ドライバーが回避行動をとらない場合は、自動的に緊急ブレーキを作動させます。これにより、車速が 50km/h 以下の場合は衝突を回避し、それを超える場合は衝突による被害を可能な限り抑えます。



歩行者警報

「シティセーフガード」と連動して、前方の歩行者との接触を可能な限り回避するシステムで

す。クルマの進路に歩行者を検知すると音と表示でドライバーに警告し、万が一ドライバーが回避行動をとらない場合は、システムがクルマを緊急停止させます。

リバースング・トラフィック・ウォーニング

駐車スペースからバックで発進する際に、死角にいる他の交通との接触を防ぐシステムです。後部レーダーが車両後方を横切ろうとするクルマやバイク、自転車、歩行者の存在を監視し、システムがこれらの交通との接触の危険性を検知すると、「警告音を鳴らす→ブレーキペダルを振動させる→緊急ブレーキを作動させる」と段階的に警告・動作します。また、シティ仕様に同時装着される「パークアシスト機能」を利用して、他の交通との接触を回避しつつアクセルおよびブレーキ操作のみで、自動で駐車スペースから出ることも可能になっています。



ツーリング仕様

セーフガードプラス

標準装備の Bentley セーフガードおよびシティ仕様のセーフガードをベースに、前面衝突の回避性能をさらに高めたシステムです。モノビデオカメラの情報に、ツーリング仕様に同時装着されるアダプティブクルーズコントロール（ACC）のフロントレーダーセンサーの情報も加え、前方の交通状況をより詳細に把握。衝突の危険性を検知すると、警告表示から緊急ブレーキまで 4 段階で警告・動作を行います。また「交差点アシスト」機能も追加。対向車線を横切る際に他の交通が検知されると、自動的にブレーキを作動させて衝突を回避します。

アクティブレーンアシスト

60km/h 以上の速度で走行中、ドライバーが意図しない車線の逸脱を防止するシステムです。車内に設置されたモノビデオカメラが前方の車線境界線を認識し、ウインカーが作動していない状態で車線を跨ぐような動きをすると、電動パワーステアリングを使



用してクルマが車線を維持するように補正します。

3 ～ 60km/h の速度域では、ACC の「トラフィックアシスト」が機能。渋滞によってカメラで車線が認識できないような状況でも、横の車列を監視して車線から逸脱しないようにステアリングに修正を加えます。

ナイトビジョン

フロントグリルに内蔵された赤外線サーマルカメラにより、ヘッドライトの照射範囲を超える、前方およそ 300 m の範囲内の歩行者や動物、その他の障害物を検知し、衝突を回避するための時間的余裕を確保するシステムです。障害物を検知すると、それが歩行者なのか、自転車なのか、大型動物なのかを識別し、メーター中央のドライバーインフォメーションパネルにシルエットとして表示。通常はその物体を黄色で強調表示しますが、それがクルマの進路上に存在し、衝突の危険性がある場合は、赤色で強調表示するとともに警告音を発してドライバーに注意を促します。

